

小児の透析選択



子供に透析が必要になりました。これまで通り学校へ通いたいと言っているのですが、可能ですか？

血液透析では、病院で透析を受ける必要があるため、早退などのスケジュールの調整が必要になる場合があります。一方、CAPD/APDでは、時間的拘束、地理的拘束が比較的少ないため、学業の継続、社会生活の継続が可能です。昼休みに保健室などでバッグ交換ができれば、CAPDでも他の児童と一緒に生活ができます。その他の利点としては、血液透析と比べてCAPD/APDでは食事制限が緩いため、より良い成長が得られること、シャントや痛みを伴う穿刺が不要であることもあげられます。現在、小児の場合では、70%近くが腹膜透析(CAPD/APD)を行っています。